

令和 4 年度 晃宝小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

「豊かな心と健やかな体をもち、創造的に考え、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きぬく人間」の育成を図る。

子ども像：進んで学ぶ子 がまん強くやりぬく子 仲良く協力する子
合言葉：晃宝っ子 やる気（知） 根気（体） 思いやり（徳）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「人間尊重の教育」を基調とし、豊かな心をもち、知・体・徳の調和のとれた、自立貢献をモットーに、生涯にわたってたくましく成長し続けられる人間の育成を図る。

「地域が学校～地域に学び、地域とともに伸びる晃宝小学校」を目指し、児童・保護者・地域の想いを生かして、全職員参加型の学校経営を展開する。

目指す学校像：学びや笑顔のある学校 仲間のいる学校 活力のある楽しい学校 安心・安全の学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 晃宝小学校の歴史と伝統を踏まえ、長年にわたって築いた教育の精神や校風を継承し、その向上と発展に努める。
- (2) ○学校経営の中核に教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を位置づけ、学びに向かう集団（学級）づくりをめざし、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることや、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習指導等により誰もが分かる驚きや発見のある楽しい授業を展開する。
- (3) 家庭・地域社会との連携強化に努めるとともに、社会の多様な要請に応じることができる、社会に開かれた学校づくりに努める。
- (4) 豊かな心、たくましい体をもち、自身の変容や成長に気付き、学習活動を振り返ることにより自身の変容や成長に気付き自己肯定感の高い子どもを育成する。
- (5) 教育公務員としての使命を自覚し、和と協働の精神を大切にして、専門職にふさわしい資質（教師のコーディネート力等）の向上を目指す。
- (6) 教職員の勤務時間を把握し、意識改革や業務改善や分掌組織の平準化や仕事術紹介に取り組む等により、「学校における働き方改革」を進めていく。

[国本地域学校園教育ビジョン]

「自ら学び 心豊かで 元気な国本っ子」 ～地域とともにある学校をめざして～

4 教育課程編成の方針

- (1) 各種教育法規や県及び市の指導方針の下、本校教育目標達成のための経営方針並びに前年度学校評価の課題等を踏まえて、本校教育の特色を具現化できるように編成する。
- (2) 習得知識を教科横断的に既存の知識と関連付け、深く理解し、生きて働く「知識及び技能」の使い方を習得させる。その上で、未知への対応力の基礎「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生に生かす「学びに向かう力、人間性等」を含めた「資質・能力」の育成に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
○地域社会に開かれた学校づくりを推進し、体験活動や地域の方々との豊かなかかわり合いを通して、人権感覚のある児童を育成する。
～「輝く笑顔—できた喜びの笑顔、友達と遊ぶ笑顔、子どもたちの成長を見つめる笑顔」～
- (2) 学習指導
○豊かな心をもち、生き生きと学ぶ子どもの育成 ～主体的・対話的で深い学びにつながる学習活動の工夫～
- (3) 児童生徒指導
○自ら考え、判断し、自分の行動に責任をもち主体的に行動できる児童の育成
○あいさつ、返事、そして場に応じた適切な言葉遣いを身につける基本的な生活習慣の育成
- (4) 健康(体力・保健・食育・安全)
○ 自分の健康・体力に関心をもち、目標をもって根気強く運動や学習をする児童の育成

6 自己評価（評価項目 A は市共通）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取り組みにかかわる内容は、該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取り組み」の方向性には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取り組み	方向性	評価
目 指 す 児 童 の 姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 〈児童アンケート 80%〉	① <u>学習のねらいや見通しが分かる課題の提示、学び合う場の設定、振り返り活動の充実など、誰もがわかる楽しい学習活動の工夫・改善に努める。</u> ② <u>学習意欲を高め、自主性を育む働きかけを工夫する。</u>		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 〈児童アンケート 80%〉	① <u>教育目標の合言葉「やる気 根気 思いやり」のもと、道徳や各教科の他、教育活動全般において、「思いやり」の心を育む教材での指導の充実を図る。</u> ② <u>縦割り班活動（GFT 活動）の一層の活性化により、児童同士が互いを大切に、認め合う態度を育む。</u>		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 〈児童アンケート 80%〉	① <u>「晃宝っ子の 1 日」をもとに、生活において守るべきルールを月生活目標として各教室に掲示する。約束の内容や意義を児童・保護者・職員が共有し、共通理解のもと指導にあたる。</u> ② <u>生活指導当番による校内巡視や、児童指導連絡会における児童の様子についての情報共有により、児童の実態把握に努める。共通理解に基づき全校体制による指導改善を図る。</u>		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 〈保護者アンケート 80%〉	① <u>児童・保護者・地域・教職員が協力し、時と場に応じたあいさつができる習慣づくりを目指す。</u> ② <u>地域学校園での合同あいさつ運動を実施し、明るくあいさつが実践できるようにする。</u> ③ <u>校内での指導を継続するとともに、家庭と地域が連携して指導に当たれるよう学校からの発信を工夫する。</u>		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 〈児童アンケート 80%〉	① <u>教育目標の合言葉「やる気 根気 思いやり」のもと、目標をもって活動に取り組める場面をより多く設定し、粘り強い取り組みによって児童が達成感を得られるように支援する。</u> ② <u>心の「たくましさ」の涵養に向け、やり抜く心や折れない心を育成する体験活動等の一層の充実を図る。</u>		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 〈児童アンケート 80%〉	① <u>校内外での生活において、安全に行動しようという意識を高めるよう、様々な機会をとらえて、発達段階に応じた指導を行う。</u> ② <u>保健だよりや食育だよりの発行や、定期健康診断、給食週間やお弁当の日の実施等を通して、家庭の健康や食に対する意識が高まるよう啓発を行う。</u>		【達成状況】 【次年度の方針】

A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① <u>教育目標の合言葉「やる気 根気 思いやり」のもと、目標をもって活動に取り組める場面をより多く設定し、粘り強い取り組みによって児童が達成感を得られるように支援する。</u> ② 各教科や他の教育活動で学んだ社会とのかかわりについての知識や技能を、実生活に生かしていこうとする態度を育成する。そのために、授業と日常生活の様々な場面をつなぐなどの支援を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 外国語活動・外国語において、英語によるコミュニケーションの場を意図的に設定し、より効果的にコミュニケーションが図れるような支援により、外国語活動の一層の充実を図る。 ② ALT との授業内容等の打ち合わせを充実させ、発達段階に応じたきめ細かな支援に生かす。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① <u>生活科や社会科、総合的な学習等において、国本地区や宇都宮市について学習する機会をとらえ、その「よさ」について考える活動を意図的に設定する。</u> ② 図書やパンフレット、インターネットなどから宇都宮学に関する資料や情報を収集し、自分の住んでいる地域や宇都宮市について触れる機会を増やして、その良さについて考える活動を設定する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 各学習活動において、ICT 機器や図書を活用することが有効な場面について、さらなる検証を行い、より効果的な活用を行うことで授業の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 〈地域アンケート80%〉	① <u>道徳科を核とした系統的な教育や認め励ます教育などを通し「心の教育」を推進し、高齢者を始め、自分に関わる様々な方々への感謝の心やいたわりの態度の育成を図る。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
A 12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 各教科・領域において個々のテーマについて別々に実施していた学習を、「持続可能な開発のための教育」（以下 ESD）の視点で統合的に再構築する。 ② 各学習における、環境問題やエネルギー問題、国際理解、防災等にかかわる活動の場面をとらえ、日常生活と地球の課題との間につながりがあることが認識できるよう、児童に働きかけるなど、教職員が ESD を意識して日々の教育活動を実践する。	【達成状況】 【次年度の方針】

目指す学校の姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 〈教職員アンケート80%〉	① 特別な支援が必要な児童生徒一人一人が自信と意欲をもって学校生活を送れることを目指し、かがやきルーム（特別支援教室）やゆうゆう教室（通級指導教室）の効果的な活用を行う。また、関連機関との連携により、多国籍化する外国人児童等への日本語指導を充実させる。 ② 「宇都宮市学校教育における合理的配慮に係る手引き」の活用等を行い、教職員研修の充実により、教職員の指導力を向上する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 「いじめゼロ強調月間」に「いじめゼロ集会」を設け、いじめ根絶に努めるとともに、朝の会、帰りの会、道徳の時間、学級活動などを通して継続的に指導する。 ② 児童一人一人が楽しく学校生活を送ることができるよう、児童との相談週間「おはなしタイム」（年2回 6月11月）を充実させる。 ③ 児童指導研修会（年3回）や特別支援委員会（年5回）の実施により、全職員による協力体制を強化し、児童が生き生きと学習や生活ができるように努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 各学級において、日々の児童観察や、信頼関係の構築に加え、教育相談の充実を図り、児童一人一人に寄り添いながら個に応じた支援を行う。 ② ケース会議や不登校対策委員会により、不登校の予防や不登校傾向児への対応の充実を目指し、学校体制で不登校対策の強化に取り組む。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 〈教職員アンケート80%〉	① それぞれの外国人児童及び対象保護者等の実情や困り感に応じて、外部諸機関や専門スタッフ・支援者との連携を図り、適切に支援を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① <u>学校行事や教育活動等に児童が意欲的・主体的に取り組めるよう、一人一人が活躍できる場や、多様な人と交流できる場を設定する。</u> ② なかよしタイム（業間）やふれあいタイム（昼休み）を活用した活動を充実させ、外遊びや縦割り班活動（GFT活動）での遊びを充実させて、明るく楽しい学校をめざす。	【達成状況】 【次年度の方針】

A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① <u>一人一人の学習意欲を高め、分かる喜びやできる喜びを味わえる授業の工夫・改善に努める。</u> ・授業のねらいの明確化 ・学習の振り返りの工夫 ・教材開発、教材研究 ・指導法の工夫 ② 児童一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導や効果的な支援体制に努める。 ・習熟度別学習やTT、少人数指導 ・かがやきルームの有効活用 ③ 教師が互いに授業公開をし合っの検討や、要請訪問等の授業研究・研修等を通して、教職員の授業力の向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 〈教職員アンケート80%〉	① 関係職員との協力が可能な内容や場面を明確にし、教職員が各スタッフの専門性を十分に活用できるようにする。 ② 各スタッフが参画するものについて、その意義を明らかにし、教育活動充実のために、より効果の上がる連携を模索し、充実した学習指導や教育活動が行えるよう工夫する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 〈教職員アンケート80%〉	① 学校行事の抜本的な見直しを行うとともに、本来学校が担うべき業務を明確にし、学校外の諸機関や保護者に対し、業務内容や勤務時間についての理解を得る働きかけを行って、業務を精選する。 ② 各種専門機関や地域等の学校支援の充実により、教職員が児童と向き合う時間を確保する。 ③ 時間調整を工夫し、職員間で必要な連携を図るための、打ち合わせ時間や作業時間等の確保に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取り組みを行っている。 【数値指標】 〈保護者アンケート80%〉	① <u>交流授業を実施する。</u> ② <u>4校の教職員が協力して、小中学校において、一貫した保健指導や食育指導、読書指導等の取り組みを実施する。</u> ③ <u>地域の団体主催事業（チャレンジウオーク、かるた大会、門松づくり、たこあげ大会等）への参加促進を通じ、交流事業の充実を図る。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 〈地域アンケート80%〉	① <u>地域協議会を活用し、学校・家庭・地域の連携を深め交流の輪を広げるとともに、学習支援ボランティアによる学習支援を積極的に活用し、学校運営の充実を図る。</u> ② 地域探検や体験学習など、街の先生・地域人材や施設・設備等の教育力を生かした体験型学習を充実する。	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 登下校時の自治会やPTA地区委員会の見守り、「こども110番の家」訪問の実施など地域との連携・協力を推進する。 ② 学校・家庭・地域の連携を行い、学習支援ボランティアによる学習支援を積極的に活用して、児童の学習活動の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 〈保護者アンケート80%〉	① 常に児童の安全に十分配慮して、校内環境の整備や維持を行う。 ② 毎月の安全点検を的確に行い、児童の安全な生活のために、迅速な補修・修繕を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 〈児童アンケート80%〉	① 学校図書館司書業務職員等と連携し、学習に必要な図書を充実させるとともに、ICT機器や備品等を整備し、学校図書館を活用した主体的な学習を効果的に行う。 ② タブレット型PCを始めとするICT機器の効果的活用により、主体的・対話的で深い学びを促進し、児童の情報処理能力の育成を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 児童は地域の様々な行事に積極的に参加している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、池掃除・かるた大会・門松教室・風あげ大会など、地域の行事に進んで参加し、地域の人とのつながりを大切にしている」 ⇒全体の肯定的回答 〈80%以上〉	① 地域協議会の行事や地域社会の行事に参加することにより、地域の人と触れ合い、地域の人材を有効的に活用して教育活動の充実に努め、「地域とともにある学校づくり」を目指す。 ② 活動の様子を、校内掲示や学校だより、学校HPなどを活用して情報発信していく。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取り組みにかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取り組みにかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。